

## 第3回政府間協議及び各国状況等について

第3回政府間協議について・・・1

I T E Rを巡る各国状況・・・7

### 第3回政府間協議について

平成14年5月24日  
文部科学省研究開発局

1. 開催日程：平成14年4月23日（火）～24日（水）

2. 開催場所：ロシア・モスクワ

3. 参加極：日本、EU、ロシア、カナダの4極

4. 結果概要：

○次の点について議論。

- ・ITER共同実施協定についての基本的考え方
- ・サイト選定の手順についての基本的考え方
- ・調達配分の基本的考え方
- ・運営組織などに関する基本的考え方 等

○日本から総合科学技術会議での議論、文部科学省と原子力安全委員会におけるITERの安全確保の基本的な考え方と安全規制のあり方についての検討について報告するとともに、各極から次の状況報告があった。

①昨年6月に誘致提案を行ったカナダでは、4月にカナダ原子力安全委員会がITERをカナダサイトに誘致した場合の環境評価基準を承認。G8エネルギー大臣会合（5月開催予定）に関連したエネルギーフォーラムにおいて、ITERに関する論文の発表、ITER計画の展示を行う。

②EUでは、欧州サイト候補としてバルセロナ近郊のバンデロス提案することをスペイン政府が正式に決定するとともに、仏カダラッシュュサイトに関する許認可の手続きを開始。欧州の全般的な交渉権が得られれば、EUの（複数の）提案として他極に対して提示されることとなる。

③ロシアは、ITER関連の活動は最も高い優先度をもっており、産業界と密接な関係をもちつつ、ITERの建設準備を連邦計画（2002～2005年）に基づいて進めている。ITERサイトを速やかに選定することの重要性を強調。

○次回の政府間協議はフランスのカダラッシュュにおいて、6月4～6日に開催予定。

## 第3回 ITER 政府間協議(N3)参加者

日本	委員	1) 青江 茂	文部科学審議官 (代表)
		2) 素川富司	文部科学省官房審議官
		3) 道上尚史	外務省国際科学協力室長
		4) 大竹 暁	文部科学省核融合開発室長
		5) 山口哲弥	内閣府政策統括官参事官補佐
		6) 岸本 浩	日本原子力研究所理事
EU	委員	1) フィンチ	欧州委員会研究総局顧問 (代表)
		2) バンデンプラス	核融合エネルギー計画調整委員会副議長
		3) パランダス	欧州核融合開発協定運営委員会議長
		4) リゴン	欧州委員会通商総局
		5) グルンバルド	欧州委員会
ロシア	委員	1) ヴィノグラドフ	原子力省第一次官 (代表)
		2) ベリコフ	クルチャトフ研究所総裁
		3) エフィメンコ	経済省本部長
		4) モストベツ	外務省部長
		5) パブロスカヤ	財務省部長
		6) ソコロフ	原子力省原子力科学技術本部長
		7) シュチュルバク	科学省副本部長
カナダ	委員	1) キャンベル	カナダ連邦天然資源省 (代表)
		2) チャーチ	外務貿易省科学技術部上級顧問
		3) ポッター	オンタリオ州政府
		4) パーナード	ITERカナダ総裁
		5) スチュワート	ITERカナダ取締役
		6) スリマ	ITERカナダ顧問
		7) ヘミングズ	Ganatom NPM Inc.
国際チーム		1) エマール	国際チームリーダー
		2) 下村安夫	国際チーム共同リーダー
		3) バラバスキー	国際チームCP

## プレス・リリース（仮訳）

### －ITERの共同実施に向けて第3回政府間協議を開催－

2002年4月24日、モスクワ

カナダ、EU、日本及びロシア連邦の代表は今週、モスクワに会し、ITER計画の共同実施に向けた公式交渉を行った。ITERは国際的な科学技術協カプロジェクトであり、地球にとって魅力的なエネルギー源である核融合の開発において、重要なステップとなるものである。今回は政府間協議の第3回であり、2002年末までにITERの実施協定に関する合意に至ることが期待されている。

今回の協議では、ITERの建設を開始するための共同実施協定に関する議論を引き続き実施したほか、同時にサイト選定の手順や調達配分の考え方、ITERのための国際的な運営組織の構造などに関する技術的な考え方を議論した。

カナダは、4月5日に、カナダ原子力安全委員会がITER計画をクラリントンにサイトした場合の環境評価基準を承認したことを報告した。ITER計画への委員会の評価と、環境評価における認可水準の確認は、メンバー国の当局の最初の正式の評価である。これは、カナダによる昨年6月の正式のホスト提案を受けて行われたものである。5月1～3日にデトロイトで開催されるG8エネルギー大臣会合に関連したエネルギーフォーラムにおいて、ITERカナダがITERに関する論文を発表するとともに、カナダ天然資源省とともにITER計画の展示を行う予定である。

EUは、ITERの欧州サイト候補として、バルセロナ近郊のバンデロス提案することをスペイン政府が正式に決定したこと、及びカダラッシュのサイトに関する許認可の手続きが開始されたことが報告された。今後欧州の全般的な交渉権が得られれば、EUの（複数の）提案として他極に対して提示されることとなる。

日本はITERへの参加・誘致について総合科学技術会議(GSTP)の審議が進められており、近い将来に結論が得られるであろうことを報告した。日本はITERへの参加・誘致に強い関心があること、その議論は最終段階にあることを述べた。また、文部科学省と原子力安全委員会において、ITERの安全確保の基本的な考え方と安全規制のあり方について検討が行われていることを報告した。

ロシアはITER関連の活動は最も高い優先度をもっており、ITERの建設準備を目的とする2002年～2005年の連邦計画に基づいて進めていることを述べた。この活動はロシアの産業界と密接な関係をもって進められている。ロシアは、ITERのサイトを速やかに選定することの重要性を強調した。

会合の結論において、ITER計画の実施にかかわる多くの重要な項目について、大きな進展があったことを再度確認した。

次回の政府間協議はフランスのカダラッシュにおいて、6月4日～6日に開催される予定である。

## **Joint News Release**

April, 24<sup>th</sup> 2002

### **Third Negotiation Meeting Continues Progress Towards the Joint Implementation of ITER**

**Moscow – April 24, 2002.** Delegations from Canada, the European Union, Japan and the Russian Federation met in Moscow this week to continue formal negotiations on the joint implementation of the ITER project. ITER is a major international collaborative scientific and technological project with the goal of taking the next major step in the development of fusion as an attractive energy source for our planet. This was the third Negotiations meeting (N3) in a series that is expected to lead, by the end of 2002, to the text of an international agreement on the joint implementation of ITER.

At this third meeting of the Negotiators, the Delegations furthered their discussions on the Joint Implementation Agreement to initiate the construction of ITER, and a number of other related technical issues such as the site selection process, approaches to the procurement allocation, and the organizational structure of the eventual international organization for ITER.

The Canadian Delegation reported that on April 5, 2002 the Canadian Nuclear Safety Commission announced its approval of the Environmental Assessment Guidelines for the ITER project if sited at the Clarington site. The review of the project and confirmation of the screening level and scope for the environmental assessment is the first formal review of a fusion facility by any of the world's nuclear regulators. This follows the formal offer by Canada to host ITER at the Clarington site made last June. At the Energy Forum associated with the G8 Energy Ministers' meeting in Detroit, May 1<sup>st</sup> – 3<sup>rd</sup> 2002, Iter Canada has offered to present a paper on ITER and will have an exhibit on the project alongside the Natural Resources Canada exhibit.

The European Union Delegation reported that there has been a decision by the Spanish Government to offer a candidature for the European siting of ITER at Vandellòs, near Barcelona. The licensing procedure concerning the possible siting of ITER in Cadarache has been launched. The European Delegation said that once it has a full negotiating mandate, the EU proposal(s) would be submitted to the other Delegations for consideration.

The Japanese Delegation reported the present status of discussion by the Council of Science and Technology Policy (CSTP) on their participation in ITER including possible hosting. The conclusion of the CSTP is expected in the near future. It was stressed that Japan has a strong interest in participation/hosting of ITER and that the discussion is approaching a final stage. The Delegation also reported that the basic principles of safety management of ITER and safety regulations are being discussed by the Nuclear Safety Commission and the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.

The Russian Federation Delegation stated that the work related to ITER is considered to be of high priority and is conducted in accordance to the federal programme of 2002-2005 which is aimed to the preparation of the construction of ITER. This work is conducted in close relation with the Russian industry. The RF Delegation emphasized the importance of promptly selecting a site for ITER.

At the conclusion of the meeting, the Delegations agreed that substantial progress had been made on a number of issues critical to the successful implementation of the ITER project.

The next meeting of the Negotiators will be held in Cadarache, France, on June 4-6, 2002.

**For further information, contact:**

**Canada**

Ministry of Natural Resources Canada

Jim Campbell

+1 (613) 996-2663, [jicampbe@nrcan.gc.ca](mailto:jicampbe@nrcan.gc.ca)

Laura Ferguson, Iter Canada

+1 (416) 203-9409, [laura@itercanada.com](mailto:laura@itercanada.com)

**European Commission**

Jean-Pierre Rager

+32 (2) 295-3085, [jean-pierre.rager@cec.eu.int](mailto:jean-pierre.rager@cec.eu.int)

**Japan**

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

Office of Fusion Energy

Satoru Ohtake

+81 (3) 5253-4111 ext. 7820, [ohtake@mext.go.jp](mailto:ohtake@mext.go.jp)

**Russian Federation**

Ministry of the Russian Federation for Atomic Energy

Yury Sokolov

+7 (095) 239-2455, [sokolov@minatom.ru](mailto:sokolov@minatom.ru)

# ITERを巡る各国状況

平成14年5月24日  
文部科学省  
研究開発局

## 1. 欧州の交渉権拡大とサイト提案の状況

### (1) 欧州委員会の交渉権拡大

○サイト提案と費用分担の協議が出来るよう欧州委員会の交渉権を拡大する案については、5月8日の常駐代表大使会議に付議されたが、正式には同会議を通過していない状況。確実ではないが、所要の手続きの後、5月中に理事会で承認される可能性があるとの情報がある。

### (2) 欧州からのサイト提案

○欧州委員会の交渉権の拡大が確保された場合、加盟国からの誘致提案がそのまま欧州の提案となる。

○スペインは、4月17日付でアン研究担当大臣からビュスカン欧州委員に宛ててバルセロナ近郊のバンデロス候補地として正式に提案。

○フランスは、5月3日付でシュワルツェンベルグ研究大臣からビュスカン欧州委員に宛ててカダラッシュ候補地として正式提案。また、カダラッシュの欧州内での技術的評価は終了。

## 2. 米国のITER参加に関する状況

○ブッシュ大統領はITER計画への復帰に好意的であり、米国政府はITER計画の復帰についてできるだけ早くポジティブな結論が出せるよう、真剣に検討中。

○ホスト国としてではなく、参加国としての可能性を念頭に、議論を展開。

○米国としては、日本や欧州から具体的なサイト提案があることを見極めて、米国の態度表明を行いたいとしている。



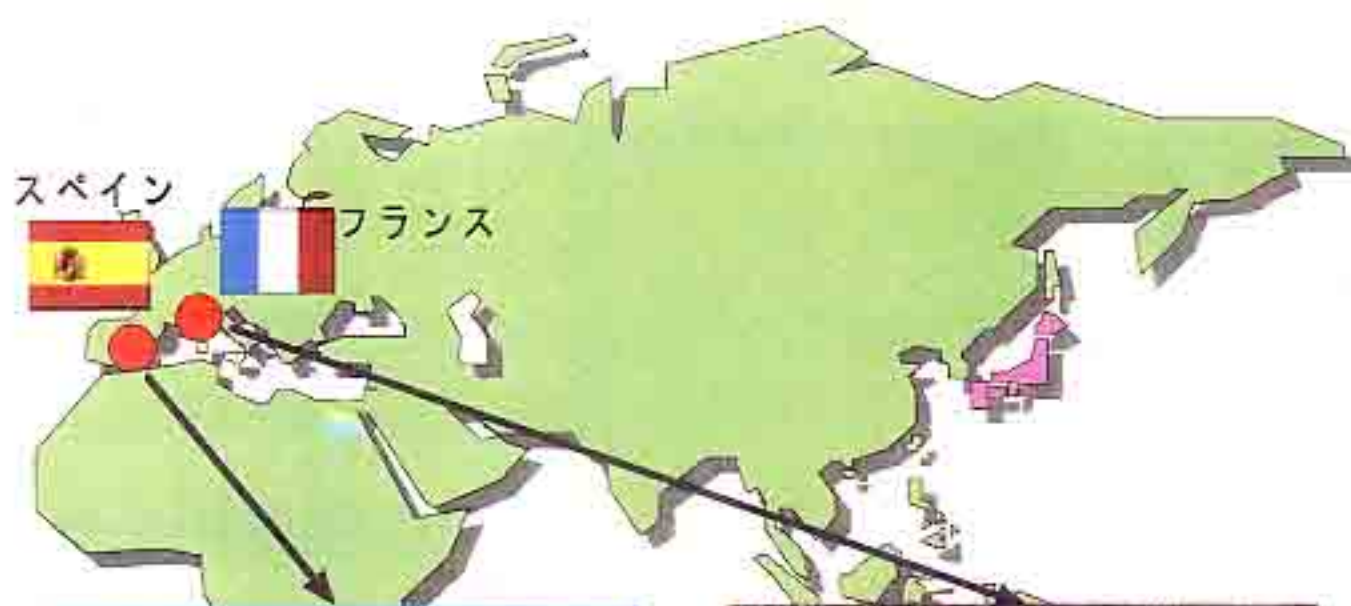
### 3. ロシアの状況

- ロシア国内には誘致はしないが、参加の姿勢。
- ITER関連の活動は最も高い優先度をもっており、産業界と密接な関係をもちつつ、ITERの建設準備を連邦計画（2002～2005年）に基づいて進めている。ITERサイトを速やかに選定することの重要性を強調。

### 4. カナダの状況

- 昨年6月、クラリントンをサイト候補地として正式提案。
- 4月にカナダ原子力安全委員会がITERをカナダサイトに誘致した場合の環境評価基準を承認。

# 世界のITERサイト候補地



スペイン

フランス

2002年4月  
スペイン政府がサイト提案を決定



ITERサイト  
予定地

## バンデロス・サイト

- ・既存原子力サイト
- ・サイト内に原発1基 (1,000MW)
- ・バルセロナ(人口170万人)から約120km
- ・避暑地として有名な海岸線
- ・生活文化面は優良
- ・港湾、鉄道及び高速道路に隣接



2002年5月  
フランス政府がサイト提案を決定

## カダラッシュ・サイト

- ・CEA敷地(1,560ha)、600haの未使用地
- ・多くの原子力施設があり、地盤堅固
- ・500~700MWの受電可
- ・冷却水を取り込む河川、貯水池あり
- ・エクサンプロバンス市から、40km
- ・マルセイユ空港から70km



カナダ

2001年6月  
正式サイト提案済



ITERサイト  
予定地

## クラリントン・サイト

- ・既存原子力サイト(485ha)、原子力施設立地要件は満足
- ・ITERサイトとして約240haが利用可
- ・サイト内に原発4基(計3400MW)、500MW受電は十分可
- ・サイトはオンタリオ湖畔、冷却水は十分
- ・サイト内の2.5kg/年のトリチウム回収施設からトリチウム調達可能
- ・トロント(人口450万人)から約60km、生活文化面は優良
- ・周辺地域は、誘致を歓迎。